

ROTARY CLUB
ITOIGAWA

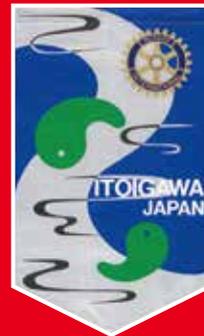


2025~2026年度

R I テーマ よいことのために手をとりあおう

地区運営方針 ローターで善の循環を

糸魚川RCテーマ みんなでよい活動しよう



週報

糸魚川

2026.3.5
第3070例会

No.32

2026.2.21
(第3069例会 No.31合併号)

◆会 長 赤星賢二 ◆クラブ会報雑誌 長谷川淳一
◆例 会 場 ヒスイ王国館 糸魚川市大町1-7-11 TEL.025-553-1210
◆例 会 日 毎週木曜日 12:30~13:30
◆創 立 1960年9月10日 ◆承認 1960年10月12日
◆事 務 局 新潟県糸魚川市寺町 糸魚川商工会議所内 TEL.025-552-1225
◆糸魚川RC HP <https://www.itoigawa-rc.jp/>
◆第2560地区HP <https://www.rid2560niigata.jp/>

本日のプログラム

- ・点 鐘
- ・国家 君が代
- ・四つのテスト
- ・会 歌 奉仕の理想
- ・会長挨拶
- ・幹事報告
- ・委員会報告
- 親睦委員(結婚記念日・誕生日祝)
- ニコニコ箱担当委員
- その他委員会
- ・ゲスト紹介
- ・ゲスト卓話

糸魚川保護司会 会長 上野 文嗣 様
「保護司会の活動について」

- ・点 鐘

本日のお客様

糸魚川保護司会 会長 上野 文嗣 様

糸魚川中央ロータリークラブ
森田ガバナーノミニー 神谷地区幹事
『森田年度進捗について』

次回例会プログラム

◇3月12日(木)

公益社団法人 糸魚川法人会
事務局長 渡辺 孝志 様
「法人会の活動について」

出席報告

◆2月19日(木) 16名 ◆2月21日(土) 7名

親睦委員会

◇3月誕生日(4名)

3日 猪又 史博君 21日 齊藤 直文君
6日 後藤 幸洋君 25日 平野 嘉生君

◇3月結婚記念日(4名)

8日 松尾 泰一君 17日 猪又 勝代君
10日 佐藤 元春君 21日 山田 陽介君

幹事報告

◆2月21日に移動例会「海洋高校相撲部激励会」が
海洋高校相撲部道場で開催されました。
出席者 7名

◆2月26日(木) 第9回定例理事会がヒスイ王国館
にて開催されました。出席者 11名

議題

1. 会員増強について
2. 3月の例会スタイルとプログラムについて
3. IM決算報告について
4. クラブ活性化セミナーについて
5. 春日部南RCとの交流事業について
6. 地区財団委員選出について
7. その他

◇2026-27年度 会長エレクトラーニングセミナー
開催案内

日 時 3月28日(土)

会 場 南魚沼市民会館

登録料 5,000円

出席者 平野君、歌川君、赤星君、齊藤君

◇吉田RC創立40周年記念式典・祝賀会開催案内

日時 4月11日(土)
 受付 12:00 ~
 記念式典 13:00 ~ 13:40
 講演 13:50 ~ 14:30
 祝賀会 14:45 ~ 16:45
 会場 燕三条ワシントンホテル
 参加者 赤星君、岡島君

◇三条北RC創立40周年記念式典・祝賀会開催案内

日時 4月18日(土)
 登録受付 12:30 ~ 13:30
 記念式典 13:30 ~ 14:30
 記念公演 15:00 ~ 15:10
 祝賀会 15:20 ~ 17:30
 会場 ジオ・ワールド ビュー
 参加者 赤星君、岡島君

ニコニコ箱 2月19日 *****

赤星 賢二君 吉川さん、渡辺さんに強く言われてお話しいただくことになりましたね。ありがとうございます。

大島 證道君 2月1日に東京に在住していた弟が、2月5日に妻が他界いたしました。寂しい、切ない気持ちで、次々と2人を見送りました。

ポールハリスフェロー表彰

おめでとうございます!



樋口 浩君 PHF



猪又 直登君 PHF

◆中央RCコーナー

3月6日(金) ゲスト卓話
 一般社団法人 糸魚川青年会議所
 理事長 笠原 翔太様
 専務理事 佐藤 進哉様
 「2026年度の取組について」

2月19日の卓話 *****

会員卓話

吉川 雄太君
 「私の履歴書」



僕は「ワクワクしなきゃつまらない」と思っています。でもそれは、ただ楽しいことを追いかけるという意味ではありません。自分の可能性が広がる瞬間にこそ、ワクワクがあると思っています。

高校2年生のとき、『世界がもし100人の村だったら』を読みました。世界100人のうち17人が中国語を話し、英語は9人。その数字を見て、「これから世界とつながるなら中国語ではないか」と考え、中国へ留学しました。中国語はゼロからのスタートでしたが、現地に身を置くことで3か月ほどで授業が理解できるようになりました。百聞は一見に如かず。人は環境があれば適応できる。この経験が今の自分の軸です。

2006年にはチョモランマのベースキャンプを目指しましたが、「世界一の麓で朝日を見たい」という思いからでしたが、準備不足で重度の高山病になり、下山することになりました。そこで学んだのは、行動力だけでは足りないということです。好奇心というアクセルを踏むなら、危険予知というブレーキも必要だということ。この感覚は経営にも通じています。

いま外国人材の受け入れに力を入れているのも、人手不足だからというだけではありません。人は環境次第で伸びると信じているからです。だからこそ、コストがかかっても衣食住は妥協しない。それは短期的な経費ではなく、長期的な投資だと考えています。

これから10年で、100人の記憶に残る存在になりたいと思っています。一人の挑戦が、その家族や周囲の人にまで影響を与えていく。そんな連鎖を生み出せたらうれしいです。

「財を遺すは下、仕事を遺すは中、

人を遺すは上なり」

人を遺す経営を目指して、これからもワクワクする挑戦を続けていきます。ただし、準備は怠らずに。それが今の僕の考えです。

◆個人寄付 2月19日 (2名 33,000円)

氏名	スマイル	R財団	米山財団
赤星 賢二君	1,000	1,000	1,000
大島 證道君	10,000	10,000	10,000
合計	11,000	11,000	11,000